



ひとづくり まちづくり 雄島まち協
海と緑と史跡に恵まれた おしま
人と地球と夢を大切にするまち

雄島まちづくりだより

第33号

令和6年（2024）9月

令和6年度 上半期各種事業報告!!



TOPICS

東尋坊愛のマラニック

防災視察研修

サーフィン体験

海からのおくりもの2024

#雄島フォトコン24 募集

海からのおくりもの2024

2024
5/25

東尋坊愛のマラニック 宿エイド協力



令和6年5月25日(土)、宿のエイド協力を行いました。例年の事ですが、訪れる参加者から様々な話を伺います。宿のエイドはゴールの二つ前、終わりに近い場所ということもあり、例年と今年の比較等の話題もあります。その話の中から、本年は、終始向かい風の中での走行が少し大変だった事と、日差しは強かったが風も強かったので、例年より涼しい気がした等の感想を聞くことができました。あくまでも個人の感想で、参加者全員がそう感じた訳ではなかったかもしれませんが、様々な話を耳にすることはエイド協力の楽しみの一つでもあります。そして、昨年同様、杏仁豆腐やスポーツドリンクなどを提供し、ゴールまであと一息のお手伝いのできた気もしました。

2024
6/29

防災視察研修 豊田市防災学習センター

正月元旦に突然襲った能登半島地震、近年では経験したことのない揺れにみなさん驚かれたと思います。

いつ、どこで、どのような災害に遭遇するか分からないために市民一人ひとりの防災意識を高め、安全な暮らしを守りたいという願いを込めて毎年この時期に実施している「防災視察研修」を、今回は令和6年6月29日(土)に愛知県豊田市にある「豊田市防災学習センター」を雄島地区民22名が訪問し、3つのトライで防災力を身につけました。

この施設では、臨場感のある体験学習で楽しみながら防災意識を身に付けることができました。そのひとつが、「防風体験コーナー」で風速30mの暴風体験、凄まじい風が吹き出て何かにつかまっていなくて飛ばされてしまうほどの体験をしました。次に地震体験コーナーを体験しました。3次元起震装置で5種類の地震を再現。場面も4種類選べて、建物倒壊までの疑似体験をしました。あと、煙脱出体験コーナーで夜の住宅火災と停電したデパートの2場面から、火災時の避難方法を体験しました。

今回の防災視察体験訓練を通し、いつ起きるか分からない災害に対し、慌てずに対処するために、今後もこうした訓練を続けながら市民の意識向上を図っていかねばならないと、実感しました。



2024
7/8・10

サーフィン体験 雄島小学校 出前参加事業

雄島小学校の児童を対象にした、恒例のサーフィン&ボディボード体験(雄島まち協の出前参加事業)が、7月8日(月)は6年生が、7月10日(水)には5年生が、それぞれ三国サンセットビーチにて行われました。

両日とも曇りで、少し波のある日になりましたが、むしろ波を利用するスポーツなので、その魅力を体験しやすい日になったのではないのでしょうか。本物の太陽は雲の向こうに隠れていましたが、子供たちの笑顔が太陽のように輝いているようにも感じました。又、本年も7月10日には、三国サンセットビーチの海開き式が行われていて、式の終了後にハマグリ(稚貝)を放流しました。



2024
8/24

海からのおくりもの2024

当初7月6日に予定されていましたが、荒天が予測されたので、8月24日（土）に延期することになりました。しかし、延期された当日には、200名を超える参加者を迎えることもでき、盛況に開催されました。

昨年より新たな体験コースを追加し「東尋坊遊覧船体験」・「ヨット体験」・「はまぐり掘り体験」・「漁師体験」・「堤防釣り体験」・「カニ釣り体験」・「サーフィン体験」・「凧あげ体験」・「スイカ割り体験」・「フラダンス体験」の10種類のコースと、その後の参加者全員による「大試食会」の全てのプログラムを予定通り行うことができました。

本事業の各種体験や大試食会は、雄島まち協のメンバーだけにとどまらず、船を出していただいたり、食材の手配に協力していただいたりと、多くの方々の協力の元に催行されています。特に本年は、天候の関係で一月以上先への延期となりましたが、それらの方々に変わらず協力を頂くことができました。

また8月開催に変更になったにもかかわらず、猛暑の中、多くのお子さんや親御さんにも参加を頂き、「海からのおくりもの2024」ができましたことも併せて感謝したいと思います。



第3回 雄島フォトコン24 雄島地区のお宝写真コンテスト

雄島地区の「おたからマップ」を参考に、おたからポイントを撮影!

【募集期間】2024年7月20日(土)～2024年10月15日(火)
 【展示審査】2024年11月18日(月)～2025年1月17日(金)

【応募部門】①(プレゼント部門) 雄島地区の「おたからマップ」を参考に、おたからポイントを撮影。
 ②(メモリアル部門) 「おたからマップ」に関係なく、雄島地区内の昭和以前の古い写真。

【応募方法】※以下の方法からお選びください。(詳細は賞状を参照)

A: 現像プリントもしくはCD-Rで応募
 賞状の応募票に必要事項を記入して「雄島コミュニティセンター」に持参してください。
 B: メールで写真を添付して応募 town.oshima.k@gmail.com
 件名は「雄島フォトコン24」と入力。本文で「氏名/年齢/郵便番号/住所/作品名/撮影場所」を入力。
 C: Instagramアカウントで応募 (①プレゼント部門のみ)
 Instagramアカウントで雄島まちづくり協議会をフォローし、写真に「雄島フォトコン24」のハッシュタグをつけて投稿。
 ※応募者全員に参加賞。

【賞】最優秀賞1点/優秀賞5点/まち協会会長賞1点/雄島コミュニティセンター長賞1点/雄島小学校長賞1点/ナイスネーミング賞1点 (地域への思いが感じられる素敵な題名の作品に授与します)

【主催・問い合わせ】雄島地区まちづくり協議会
 〒913-0056 坂井市三国町宿2-3-45 雄島コミュニティセンター内
 TEL/FAX: 0776-82-3553 E-Mail: town.oshima.k@gmail.com Web: https://oshima-machikyo.jp/

Q: 雄島地区の「おたからマップ」とは?

A: 令和3年に坂井市文化財保存活用地域計画作成事業のワークショップが行われました。そこで地域の参加者から、雄島地区の歴史・文化・民俗等の意見が多く集められ、それら地域のお宝と呼べる様々なものを落とし込んだ地図のことです。

※但し「おたからマップ」は現時点で仮称であり、この先、内容の精査を必要とします。



おたからマップ =

今年も開催! 締め切り迫る! 第3回 雄島地区のお宝写真コンテスト

日本海に面し豊かな自然に恵まれ、古墳公園に象徴される永い歴史を持つ「雄島地区」。雄島地区の「おたからマップ」を参考にして、あなたが思う雄島地区のおたからポイントを撮影しご応募ください。

【募集期間】
2024年7月20日(土)～2024年10月15日(火)
 【展示審査】
2024年11月18日(月)～2025年1月17日(金)

【応募部門】
 《プレゼント部門》
 雄島地区の「おたからマップ」を参考に、おたからポイントを撮影。
 《メモリアル部門》
 「おたからマップ」に関係なく、雄島地区内の昭和以前の古い写真。

【賞】
 最優秀賞1点 / 優秀賞5点 / まち協会会長賞1点
 雄島コミュニティセンター長賞1点 / 雄島小学校長賞1点
 ナイスネーミング賞1点 (地域への思いが感じられる素敵な題名の作品に授与します)
 ※応募者全員に参加賞。

(※ 本年は未定ですが、昨年の最優秀賞者には「越前ガニ」が贈呈されました。)

◆ 応募方法・募集要項等の詳細は、「雄島まち協 WEB サイト」か「募集チラシ」にて確認ください。

編集後記

元旦に発生した能登半島地震ほどではないにしろ、いまだ日本の各所では、時折揺れが続いています。他にも遅々とし迷走する強力な台風も列島を襲い、夏ともなれば相変わらず異常な猛暑もあります。そのようにどこか危うさを匂わせる日常の中、早いもので、気が付けば4月から始まる本年度も半分が過ぎました。

その一方、最近、ふとコロナ禍とは何だったかのかと考える事があります。当時は敏感に反応していたコロナウイルスでしたが、今では当時が嘘みたいに見える事すらあります。しかしほんの数年の事ですが、明らかにコロナ以前と、今とでは社会をはじめ様々なことが大きく変化しました。

異常気象や災害、そしてコロナのような病の流行まで、想定外の事柄が日々当たり前に起こり、変化の激しい時代です。その中で、我々は「どう生きていくのか」を真剣に考えねばならないのかもしれない。(M)

発行者 雄島地区まちづくり協議会 令和6年9月26日発行

〒913-0056 坂井市三国町宿2-3-45 雄島コミュニティセンター内

電話/FAX: 0776-82-3553

E-Mail: town.oshima.k@gmail.com

WEB サイト: https://oshima-machikyo.jp/

facebook: https://www.facebook.com/oshimamachikyo



☆まちづくり協議会への地区の皆様の活発なご意見をお待ちしています。